

施設名	高岡市伏木気象資料館(旧伏木測候所)		 <p>(文献1より)</p>								
所在地	富山県 高岡市										
管理官署	高岡市										
施設種類	建築										
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>明治期に建設され築後約100年を有する近代化遺産のひとつとして、伏木地区における象徴的な建造物であるとともに、全国的にも希少なわが国気象観測の発展をうかがい知ることのできる建物といえます。</p> <p>平成18年3月2日には、登録有形文化財に登録されました。平成29年3月のリニューアルオープン時には塔屋が復原され、現在の地に移設されたころの外観になりました。(文献1より)</p>										
建築時期	明治後期		時期詳細	明治42年							
関連人物	—										
関連企業	—										
トピックス (特徴的エピソード)	伏木測候所は伏木港の回船問屋、藤井能三氏により私立伏木測候所として設立された。氏は、海外との貿易を目的に、伏木港の近代化を計画して伏木燈明台(とうめいだい)を私費で構築した。明治15年9月に伏木燈明台の一部を伏木庁舎にあて、明治16年4月より観測事務を始め、同年12月1日をもって伏木測候所の創立としている。(文献2より)										
歴史的な遺産等の指定の有無等	○			文化財(文化庁)	登録有形文化財(建造物)	近代化産業遺産(経産省)	—	世界遺産(ユネスコ)	—		
その他 (関連資料、文献)	<p>文献1:高岡市HP (https://www.city.takaoka.toyama.jp/syoubun/kanko/bunka/shisetsu/kisho.html)</p> <p>文献2:富山地方気象台HP (https://www.jma-net.go.jp/toyama/fushiki/fushiki.html)</p>										
管理者等のHP (URL等)	—										